

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・実技（論述・面接）試験 体験記

平成29年3月23日

2級受検番号 NO 03S3120253 氏名 M. H

1 試験に向けた準備の状況

いつ頃から始めたか	第16回試験で、実技は合格点を取れたものの、論述が58点で不合格となり、2016年10月ごろから準備を開始。
どのような内容を、どの程度行ったか	受験仲間と平日夜間と土・日に自主的な勉強会を10数回実施。(受験生目線での情報交換) 1級技能士の会の2級技能士対策講座を受講(論述三昧・短期集中強化・本番直前対策総仕上)
準備に対する振り返り	第1回の標準レベルキャリアコンサルタント試験に合格し、その延長で2級技能士を受験したので、特別な準備はしませんでした。
これから受検する人へのアドバイス	標準レベルキャリアコンサルタント試験合格後に2級技能士を受験される方が多いと思いますが、標準レベル試験と2級技能士試験の違いを明確にイメージして、信頼できる人の指導を仰ぐのが合格への近道ではないかと思います。

2 論述試験への取組みです

問1を解答するときに注意したことを教えてください。

前回の第16回試験では、問1にこだわりすぎて時間を必要以上に使ってしまったため、CLの発言を追いかけて、あまり深い内容まで書かずに表面的な問題を取り上げるよう心がけました。

問2を解答するときに注意したことを教えてください。

CC・CL両方の発言に注意し、表面に出ていないことでCL目線としてどんな課題がありそうかをできるだけ詳しく記載するよう心がけました。

問3を解答するときに注意したことを教えてください。

問1と問2のつながりを意識することと、何をするによってどのように解決に結びつけることができるか具体的に記述することを意識しました。

論述試験対策のポイントを教えてください。

論述試験の正解は無いといわれていますが、試験官の目線で何が書かれている必要があるのかを考えると、押さえるポイントは決まっているはずなので、そのポイントを何なのかを意識することが大切ではないかと思います。

これから論述試験を受験する人へのアドバイスをお願いします。

論述試験の正解は、無いのではなくて、正解は一つではなく、書き方は自由だけれどもこれを書かないといけないというポイントは決まっているのだと思います。自分ひとりで考えていても分かりにくいと思うので、信頼できる第三者の目線でのアドバイスをもらうことがとても大切ではないかと思います。

3 試験当日の状況(試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください)

試験日： 1月22日 午前

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

できるだけ、遅い日程で予備日ではない日としてこの日を選びました。希望日は先着順で決定されるとのことだったので、受験手続を早めにしたら第一希望日になりました。

試験会場： 東京 試験官の性別：男性 1 人、女性 1 人 事例番号： 1

ロールプレイの時間：ロールプレイ 20 分のうち 19 分程度

口頭試問の時間：10 分のうち 9 分程度

3 試験の状況（ロールプレイの流れや特徴点について記述してください。その他、試験中に意識したこと、注意したこと、事例相談者の対応など、気づいたことを自由に）

① 導入部	大学生のケースだったので、親しみやすい雰囲気の中にも上から目線とならないように、笑顔で丁寧に対応することを心がけました。面談時間が20分の予定であることと、守秘義務があること、答えにくい質問の場合は、無理に回答をしなくてもいいので、感じたそのままを答えて欲しいと伝えました。どんなケースになっても導入部は基本的に同じパターンにしようと思っていました。
② 基本的態度	80点 言語・非言語両方を意識しCLの思いを丁寧に受け取ることを心がけました。試験官にも分かり易いように大きくうなずいたり、伝え返しやあいづちを意識して実行しました。
③ 関係構築	80点 比較的良好に話してくれるCLさんで、こちらの質問にもほぼすべて答えてもらい、笑顔もでていたので関係構築はできたと感じました。
④ 問題把握	60点 事前のケースが頭のなかに残りすぎていて、当日のCLとのやり取りによって把握した問題というよりも、事前に分かっていた情報の整理・確認にとどまってしまうため、点数が伸びなかったと思います。(前回は65点)
⑤ 具体的展開	60点 問題把握と同様に、当日のCLとのやり取りでCLの自己探索が深まるような展開ができず、事前の情報の確認にとどまってしまうことで点数が伸びなかったと思います。(前回は60点)
⑥口頭試問の内容と回答	<p>1. 今日の面接でできたこと、開園するべきことを1分以内で教えてください。できるだけ気持ちを楽にしてくれるよう、うなずきや伝え返しを意識して取り組んだ結果、多くのことを語ってもらうことができたこと。できなかったことは、事柄に焦点を当てた質問が多くもっと気持ちに焦点をあてた質問ができるように改善したい。</p> <p>2. 相談者との関係構築はできたと感じますか 学生さんだったのでできるだけ柔らかく感じて対応することを心がけた結果、CLの表情に笑顔も出ていて多くのことを語ってもらえたので関係構築はできたと感じる。</p> <p>3. CCとして捉えた相談者の問題は何か？ 就活時にどのような職業に興味があり、どんなことにやりがいを感じるかという自己理解が不十分なまま、企業の面接を受けて思うような結果が残せずに、就活を早く終わらせるためにアルバイト先の居酒屋に就職を決めたが、この時期になって迷いが生じてしまっていること。(自己理解不足) 一般企業と居酒屋のちがいについて、労働時間や休みの日が土日ではない等の表面的な部分しか見えていないこと。(仕事理解不足) 就職先について、親とのコミュニケーションが十分にとれておらず、周囲との関係で改善すべき点があること。(環境への適応力)</p>

	<p>4. 今後どのように面談を進めていこうと考えますか？</p> <p>具体的な方策として、まずはホランドの職業興味検査をやってもらいCLがどんなタイプであるかを確認します。その次に居酒屋さんと一般企業の違いについて、具体的に理解が深まるように事例提供します。親との関係改善するために、一般的な話にはなりますが、親の気持ちについてCLに分かりやすく説明したいと思います。</p>
<p>これから受検する人へのアドバイス</p>	
<p>自主勉強会でもロープルの練習をすることはできますが、その際のフィードバックやCL役をどのようにするかによって、混乱することがありました。試験で問われていることは何なのかを常に意識しながら、信頼できる人の指導を受けることが合格への近道だということを実感しました。</p> <p>私自身、毎回のフィードバックで理解できない点も多数あったのですが、1級技能士の会でのロープレと、そのフィードバックのおかげで自身の課題が明確になり、合格するために最低限必要なポイントが明確になったと思います。合格率は低い試験ですが、あきらめなければ必ず合格できる試験だと思います。できるだけ多くの良いパターン、悪いパターンを経験することによって試験当日の修正ができると思うので、1回ごとのロープルの出来具合に一喜一憂することなく、長期的な視点でロープレを行っていただくと、合格への近道となるのではないかと思います。</p> <p>私自身も、まだまだ足りないところが多いので、スキルアップを図りたいと思います。</p>	